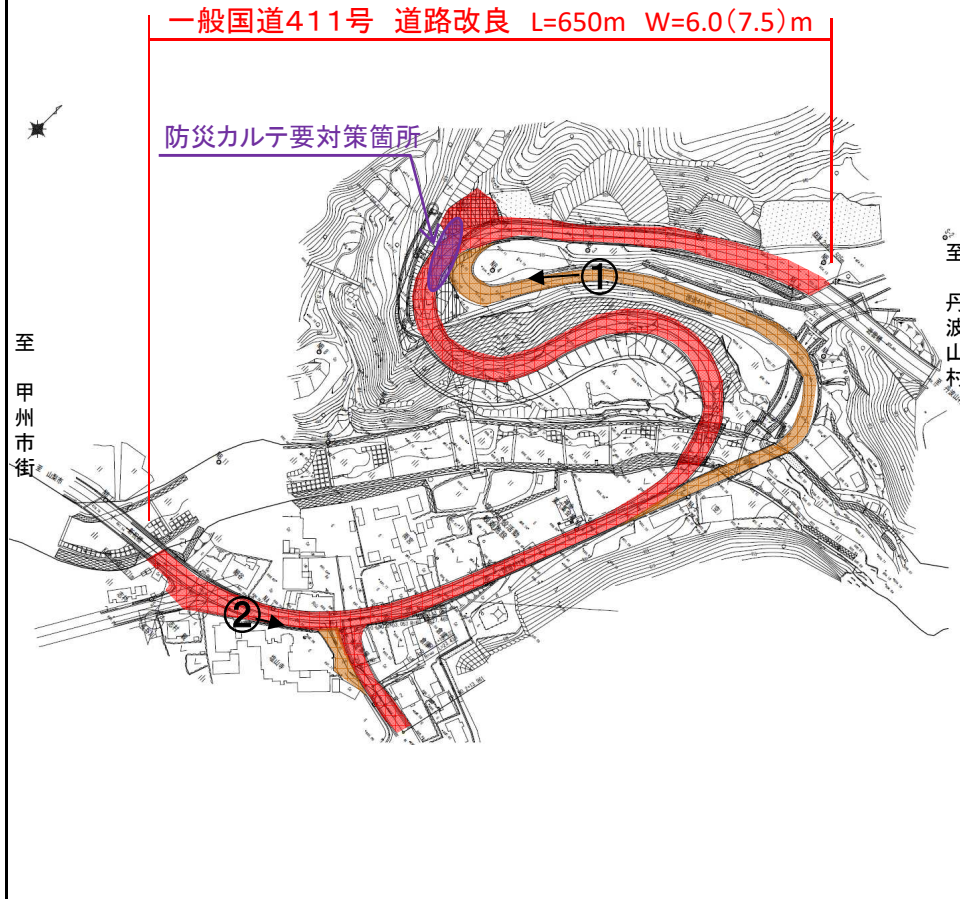


1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業(国補)]	事業箇所	甲州市塩山上萩原裂石	地区名	国道411号(裂石工区)	事業主体	山梨県																																						
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																									
<p>①課題・背景 国道411号は、東京都八王子市を起点として山梨県甲府市中央に至る延長約120kmの幹線道路であり、第一次緊急輸送道路の役割とともに国道20号の代替機能を担う重要な路線である。 しかし、甲州市塩山上萩原裂石地区は、甲州市側に残された未改良箇所であり、日本百名山の一つである大菩薩嶺の入口にもかかわらず幅員は狭小で道路の線形が悪いため、主に観光バス等の大型車同士のすれ違いが困難であり、また、豪雨時には土砂の流出などによる通行規制も発生していることから、交通の円滑化向上や安全性確保のため、早急に道路整備を進める必要がある。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○災害に強い道路の確保</p> <p>危険度(落石等) : 要対策・要監視箇所あり 損傷度等(落石等) : 通行止めの実績(過去3年間)2回≥2回以上※ 緊急輸送道路の指定 : 指定有り(第一次緊急輸送道路) 自動車交通量 : 1,693台/12h < 3,428台/12h以上(平日)※ (H27セガ) ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ー</p> <p>□副次効果 ○アクセス機能の維持 (通行止による迂回に2倍以上の時間が必要となる道路である。)</p>				<p>妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) 一般通行の用に供する国道であり、極めて公共性が高い。 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) 道路法第12条の規定により県が行うべき事業である。 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>800 百万円</td> <td>工期</td> <td>R2~R7</td> <td>基準年</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>709 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">776 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>631 百万円</td> <td>走行時間短縮</td> <td colspan="2">451 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>78 百万円</td> <td>走行経費減少</td> <td colspan="2">21 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少</td> <td colspan="2">1 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">303 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">1.1</td> </tr> </table> <p>※その他は、通行規制解消便益、災害解消便益、救急救命率向上便益、観光客増加便益 費用便益比(B/C)は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 残された未改良箇所の必要最小限の範囲について改良を計画した。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 防災対策が必要となる箇所での現道拡幅は、大規模な切り土や工事中通行止めを伴うことから、経済性に最も優れた計画とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 法面切り土及び盛土を必要最小限に抑え環境面に配慮する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 説明会を実施しており、事業に対する地元の熟度は高い。</p>				総事業費	800 百万円	工期	R2~R7	基準年	R1	経済効率性	費用	709 百万円	便益	776 百万円		建設費	631 百万円	走行時間短縮	451 百万円		維持管理費	78 百万円	走行経費減少	21 百万円				交通事故減少	1 百万円				その他※	303 百万円		B/C			1.1		
総事業費	800 百万円	工期	R2~R7	基準年	R1																																								
経済効率性	費用	709 百万円	便益	776 百万円																																									
	建設費	631 百万円	走行時間短縮	451 百万円																																									
	維持管理費	78 百万円	走行経費減少	21 百万円																																									
			交通事故減少	1 百万円																																									
		その他※	303 百万円																																										
B/C			1.1																																										
(2) 整備内容				総合評価 [貢献度ランク: a]																																									
<p>①整備内容 道路改良 L=650m W=6.0(7.5)m</p> <p>②着手年度 令和2年度 ③完成見込年度 令和7年度</p> <p>④総事業費 約800百万円(国費424百万円(5.3/10)県費376百万円(4.7/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">(事業費)</td> </tr> <tr> <td>令和2年度~3年度 詳細設計・用地測量・用地買収</td> <td style="text-align: right;">150 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度~7年度 道路改良工事</td> <td style="text-align: right;">650 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p>					(事業費)	令和2年度~3年度 詳細設計・用地測量・用地買収	150 百万円	令和4年度~7年度 道路改良工事	650 百万円	<p>(4) 事業位置図等</p> <p>【事業位置図等】</p> <p>凡例 〓 今回事業評価箇所 〓 既整備箇所 〓 事業中箇所</p>																																			
	(事業費)																																												
令和2年度~3年度 詳細設計・用地測量・用地買収	150 百万円																																												
令和4年度~7年度 道路改良工事	650 百万円																																												
⑥既整備内容・期間・事業費																																													
上萩原Ⅰ期 L=3,060m W=6.0(8.0)m S63~H9 C=約78億円 上萩原Ⅱ期 L=2,600m W=6.0(8.0)m H9~H21 C=約98億円 上萩原Ⅲ期(1工区) L=760m W=5.5(7.0)m H22~H26 C=約14億円																																													

2. 添付資料シート

【平面図】



【写真①】



【写真②】



【標準横断図】

改良前

5.2~5.8m

路肩	車道	車道	路肩
0.2 ~0.4	2.2~2.5	2.2~2.5	0.2 ~0.4

改良後

